

# 景気見通し調査(平成30年6月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

**調査時期** 平成30年6月11日(月)～6月22日(金)

**調査方法** FAXによる送付、回収

**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 400件を抽出  
(製造業・建設業・その他・・・従業員20人以下の事業所  
卸売業・小売業・サービス業・・・従業員5人以下の事業所)

**回答数** 168件 (回答率42.0%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	17	16	14	12	15	74(44.0%)
6～10名以内	19	11	3	2	4	39(23.2%)
11名以上	22	20	4	4	5	55(32.7%)
計	46(34.8%)	35(26.5%)	20(15.2%)	14(10.6%)	17(12.9%)	168

### DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

豪雪前の水準以上に順調に回復

～全体的に改善傾向、人材不足と仕入価格の高騰が課題～

①業界の景況

- ・全体的に改善
- ・サービス業のみ悪化
- ・3ヶ月後は製造・建設・小売業が悪化の見込み

④仕入価格

- ・全業種において悪化
- ・3ヶ月後は小売業を除く全業種で改善する見込み

②自社の景況

- ・全業種において改善
- ・3ヶ月後は製造・建設業が悪化の見込み

⑤販売価格

- ・全業種において改善
- ・3ヶ月後は製造・建設業は悪化の見込み

③売上高(受注高)

- ・全業種において改善
- ・3ヶ月後は製造業のみ改善の見込み

⑥採算(収支)

- ・全業種において改善
- ・サービス業が大幅に改善
- ・3ヶ月後は卸売業以外で悪化を予測

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		①業界の景況	②自社の景況	③売上高 (受注高)	④仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	⑤販売価格 (受注単価)	⑥採算 (収支)
全業種		↑	↑	↑	↓	↑	↑
製造業	+ 受注が好調	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 客先の設備投資が活発	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 豪雪からの回復	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 受注単価の低位安定	↑	↑	↑	↓	↑	↑
建設業	+ 受注が好調	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 豪雪の被害関係の工事	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 人員の不足	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 受注単価の低下	↑	↑	↑	↓	↑	↑
卸売業	+ 受注が好調	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 仕入等に係る運賃の値上げ	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 国内外ともに業界低迷	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 野菜、果物の不作による価格高騰	↑	↑	↑	↓	↑	↑
小売業	+ 豪雪からの回復	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 仕入単価の上昇	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 不漁・消費者の魚離れ	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	- 大型量販店との競争	↑	↑	↑	↓	↑	↑
サービス業	+ 豪雪からの回復	↓	↑	↑	↓	↑	↑
	- 受注の低迷	↓	↑	↑	↓	↑	↑
	- 販売価格の安さ	↓	↑	↑	↓	↑	↑
	- 顧客の減少	↓	↑	↑	↓	↑	↑

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化、白の矢印は維持を表している。

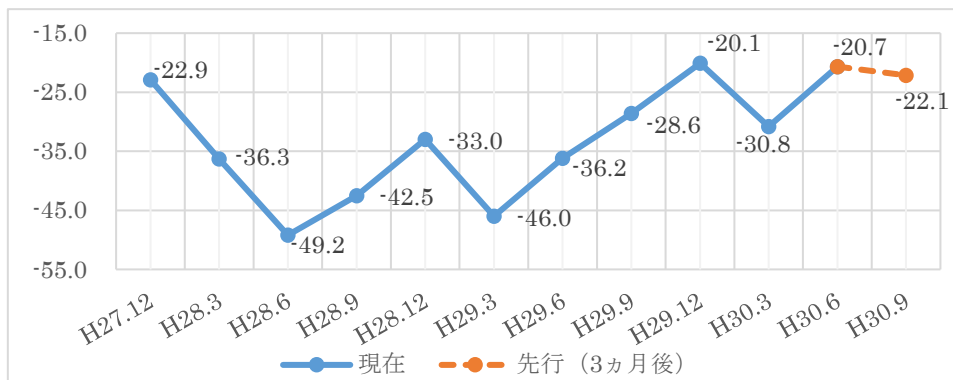
■調査結果概要(調査項目)

①業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-20.7	10.1	-22.1	-1.4
製造業	-21.2	13.4	-26.5	-5.4
建設業	12.8	3.1	5.7	-7.1
卸売業	-54.2	8.7	-50.0	4.2
小売業	-29.4	38.4	-37.5	-8.1
サービス業	-38.9	-24.6	-16.7	22.2
②自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-16.6	13.7	-17.2	-0.6
製造業	-11.5	13.9	-16.7	-5.1
建設業	2.5	9.8	-2.9	-5.4
卸売業	-54.2	5.8	-47.8	6.3
小売業	-29.4	27.7	-20.0	9.4
サービス業	-11.1	5.6	0.0	11.1
③売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-12.6	15.4	-15.6	-3.0
製造業	-17.3	0.9	-9.8	7.5
建設業	2.5	12.3	-5.4	-7.9
卸売業	-33.3	29.5	-50.0	-16.7
小売業	-29.4	9.9	-29.4	0.0
サービス業	11.1	33.1	5.6	-5.6
④仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-51.0	-17.8	-47.6	3.4
製造業	-51.9	-15.6	-50.0	1.9
建設業	-52.5	-13.5	-48.6	3.9
卸売業	-66.7	-25.5	-58.3	8.3
小売業	-41.2	-23.3	-47.1	-5.9
サービス業	-33.3	-7.0	-23.5	9.8
⑤販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	8.7	6.7	8.2	-0.5
製造業	9.6	11.5	5.9	-3.7
建設業	10.3	5.3	7.9	-2.4
卸売業	4.2	4.2	4.2	0.0
小売業	11.8	4.6	17.6	5.9
サービス業	5.6	3.1	11.8	6.2
⑥採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-21.2	10.8	-27.7	-6.5
製造業	-11.5	15.7	-25.5	-14.0
建設業	-12.5	4.6	-15.4	-2.9
卸売業	-58.3	1.7	-54.2	4.2
小売業	-35.3	0.4	-41.2	-5.9
サービス業	-5.6	21.3	-11.8	-6.2

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

## ①【業界の景況】

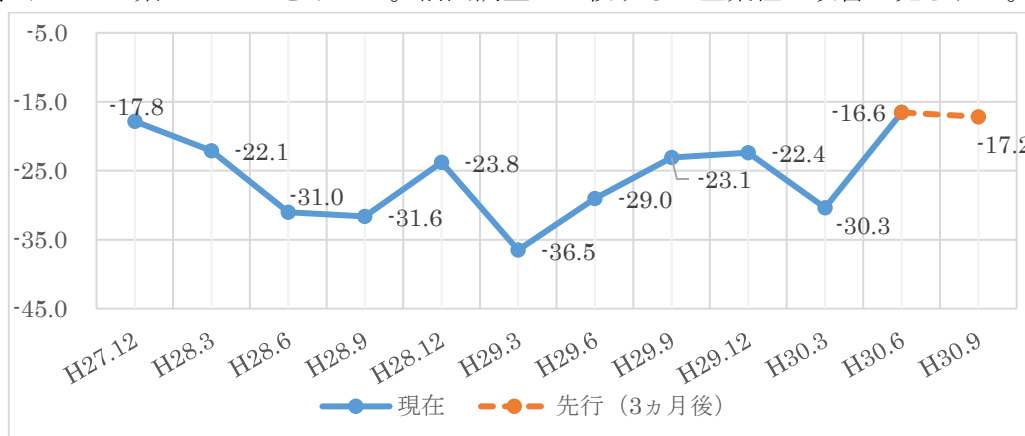
業界全体の現在 DI 値は▲20.7 を示し、前回調査（H30.3 期）から 10.1 ポイント改善した。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲22.1 と、わずかな悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲21.2、建設業が 12.8、卸売業が▲54.2、小売業が▲29.4、サービス業が▲38.9 となり、前回調査と比較すると、サービス業を除く全業種で改善となっている。



①業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-20.7	10.1	-22.1	-1.4
製造業	-21.2	13.4	-26.5	-5.4
建設業	12.8	3.1	5.7	-7.1
卸売業	-54.2	8.7	-50.0	4.2
小売業	-29.4	38.4	-37.5	-8.1
サービス業	-38.9	-24.6	-16.7	22.2

## ②【自社の景況】

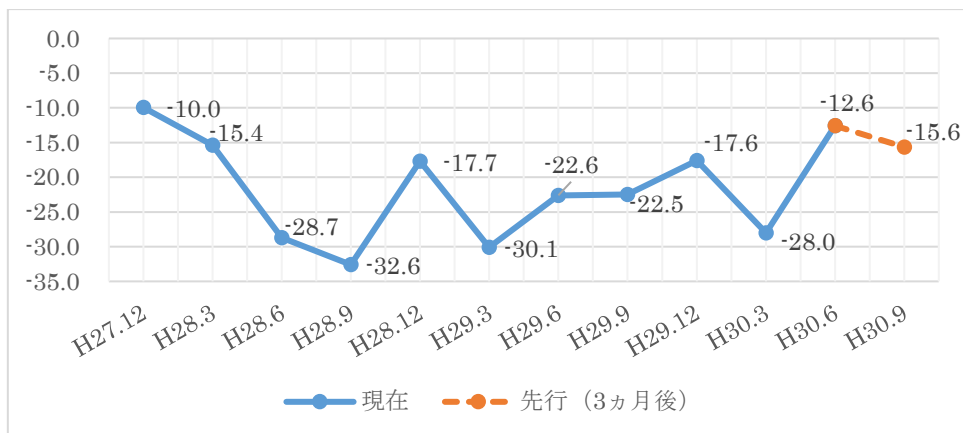
自社の景況は、現在 DI 値▲16.6 となり、前回調査より 13.7 ポイント改善した。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲17.2 で、わずかではあるが悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲11.5、建設業が 2.5、卸売業が▲54.2、小売業が▲29.4、サービス業が▲11.1 を示した。前回調査と比較すると全業種で改善が見られた。



②自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-16.6	13.7	-17.2	-0.6
製造業	-11.5	13.9	-16.7	-5.1
建設業	2.5	9.8	-2.9	-5.4
卸売業	-54.2	5.8	-47.8	6.3
小売業	-29.4	27.7	-20.0	9.4
サービス業	-11.1	5.6	0.0	11.1

### ③【売上高(受注高)】

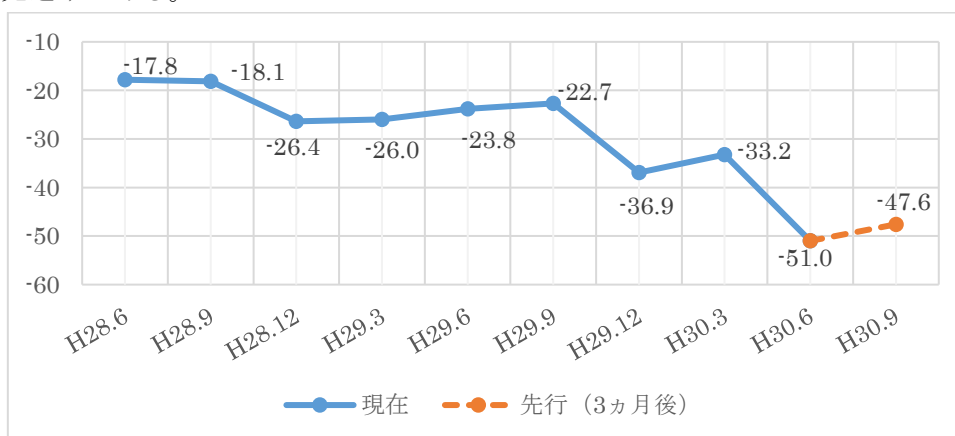
売上高(受注高)の状況を表す現在DI値は▲12.6となり、前回調査から15.4ポイントの改善となった。3ヶ月後の先行DI値は、▲15.6で悪化が予想される。業界別には、製造業が▲17.3、建設業が2.5、卸売業が▲33.3、小売業が▲29.4、サービス業が11.1となり、前回調査と比較して、全業種改善となった。今後3ヶ月後の見通しは、製造業に限り更に改善する見込みである。



③売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
<b>全体</b>	-12.6	15.4	-15.6	-3.0
製造業	-17.3	0.9	-9.8	7.5
建設業	2.5	12.3	-5.4	-7.9
卸売業	-33.3	29.5	-50.0	-16.7
小売業	-29.4	9.9	-29.4	0.0
サービス業	11.1	33.1	5.6	-5.6

### ④【仕入価格】

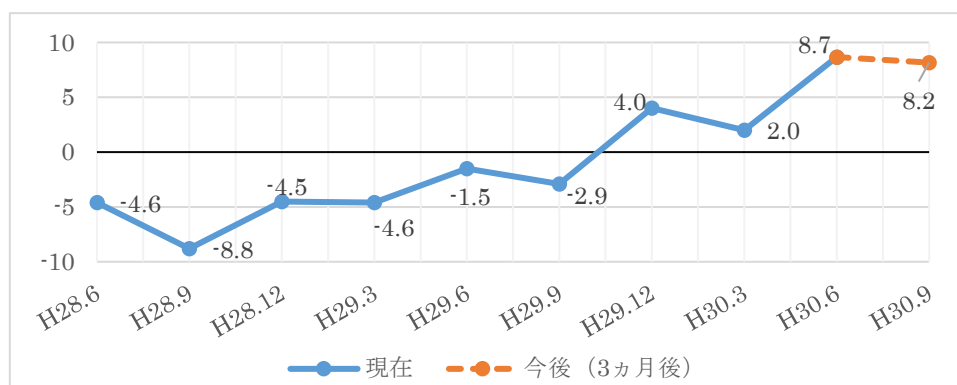
仕入価格の現在DI値は▲51.0で、前回調査から17.8ポイント減となり、大幅に悪化している。3ヶ月後の先行DI値は▲47.6と、現在と比べて3.4ポイント増が見込まれる。業種別では、製造業が▲51.9、建設業が▲52.5、卸売業が▲66.7、小売業が▲41.2、サービス業が▲33.3と全業種で悪化となった。3ヶ月後の見通しは、小売業以外は改善する見込みである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
<b>全体</b>	-51.0	-17.8	-47.6	3.4
製造業	-51.9	-15.6	-50.0	1.9
建設業	-52.5	-13.5	-48.6	3.9
卸売業	-66.7	-25.5	-58.3	8.3
小売業	-41.2	-23.3	-47.1	-5.9
サービス業	-33.3	-7.0	-23.5	9.8

## ⑤【販売価格】

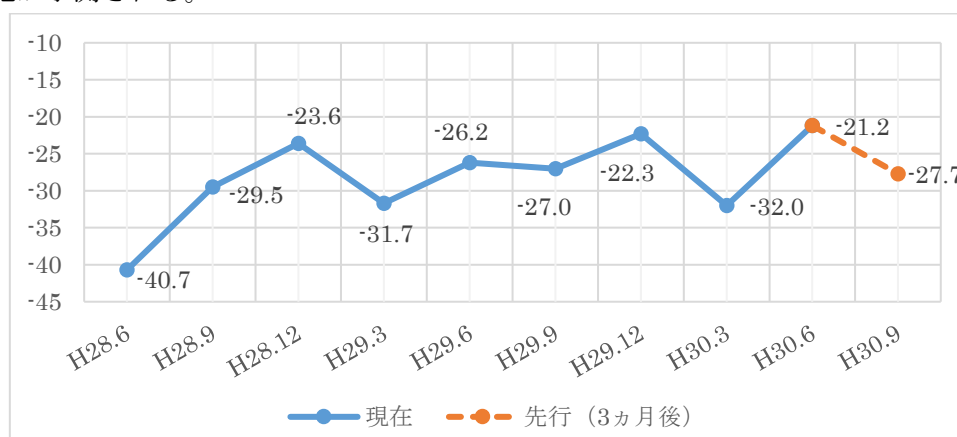
販売価格の現在 DI 値は 8.7 となり、前回調査から 6.7 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は 8.2 で、0.5 ポイントの悪化が予測される。業種別では、製造業が 9.6、建設業が 10.3、卸売業が 4.2、小売業が 11.8、サービス業が 5.6 となった。業種別の先行 DI 値については、小売業、サービス業で更に改善が見込まれる。



⑤販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	8.7	6.7	8.2	-0.5
製造業	9.6	11.5	5.9	-3.7
建設業	10.3	5.3	7.9	-2.4
卸売業	4.2	4.2	4.2	0.0
小売業	11.8	4.6	17.6	5.9
サービス業	5.6	3.1	11.8	6.2

## ⑥【採算(収支)】

採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲21.2 と、前回調査から 10.8 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲27.7 で、現在と比べ 6.5 ポイントの悪化が予想される。業種別では、製造業が▲11.5、建設業が▲12.5、卸売業が▲58.3、小売業が▲35.3、サービス業が▲5.6 と全業種改善となった。3 ヶ月後の見通しは、卸売業を除く全業種で悪化が予測される。

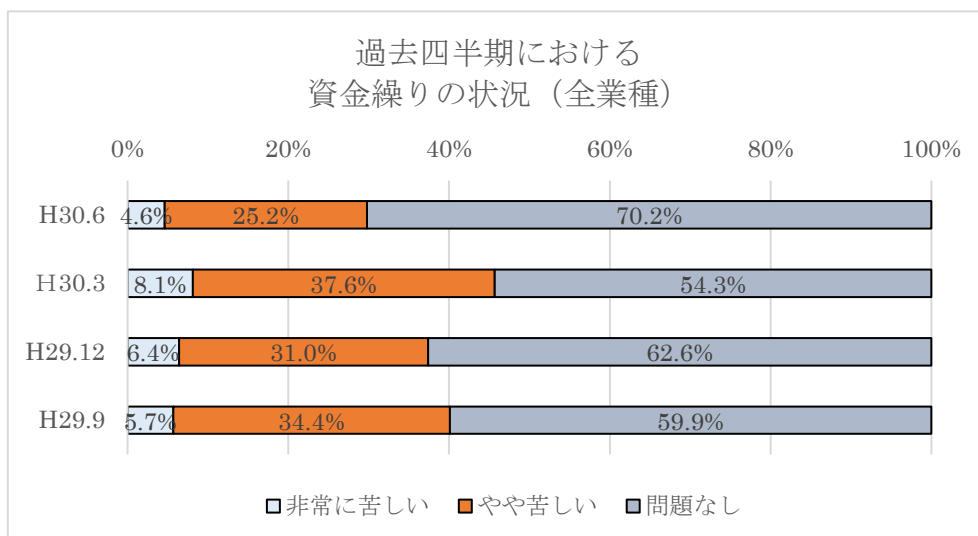
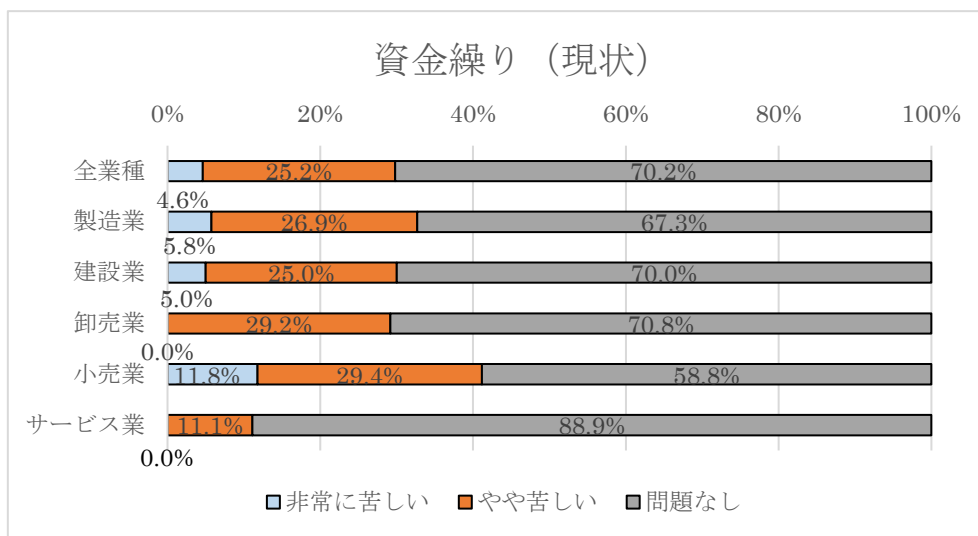


採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-21.2	10.8	-27.7	-6.5
製造業	-11.5	15.7	-25.5	-14.0
建設業	-12.5	4.6	-15.4	-2.9
卸売業	-58.3	1.7	-54.2	4.2
小売業	-35.3	0.4	-41.2	-5.9
サービス業	-5.6	21.3	-11.8	-6.2

## 【資金繰り】

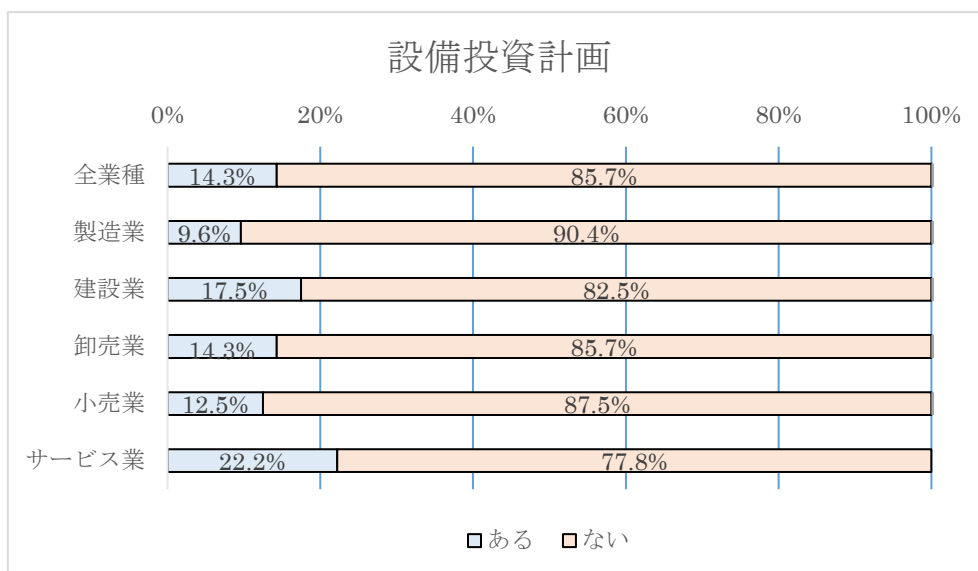
資金繰りの状況は、全業種の70.2%が「問題なし」と回答しており、業種別では、サービス業の資金繰りが比較的安定していると言える。

過去四半期の資金繰り状況と比較するとH29.9期から「問題なし」の回答率が每期上がり、豪雪の影響でH30.3期は「問題なし」の回答率が一時的に減少したものの、今回は再び「問題なし」の割合が上昇する結果となった。

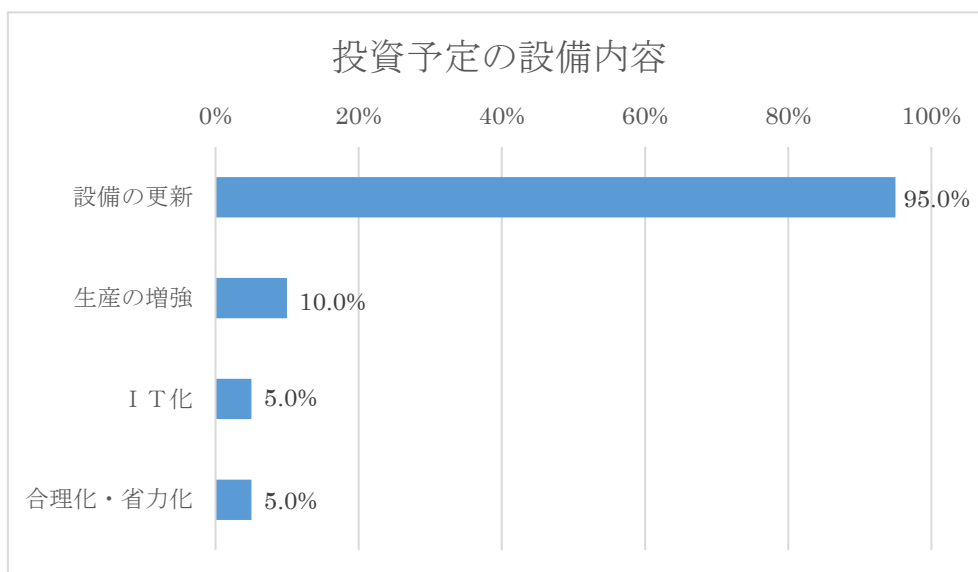


## 【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では14.3%が「ある」と回答している。業種別では「ある」と回答した事業所は、サービス業、建設業が他業種と比べると高い数値となった。



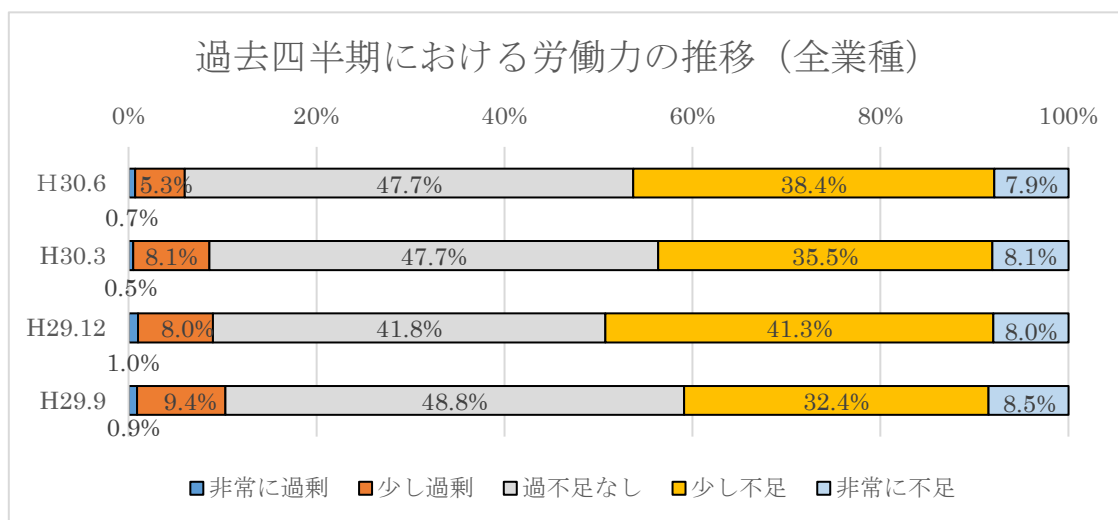
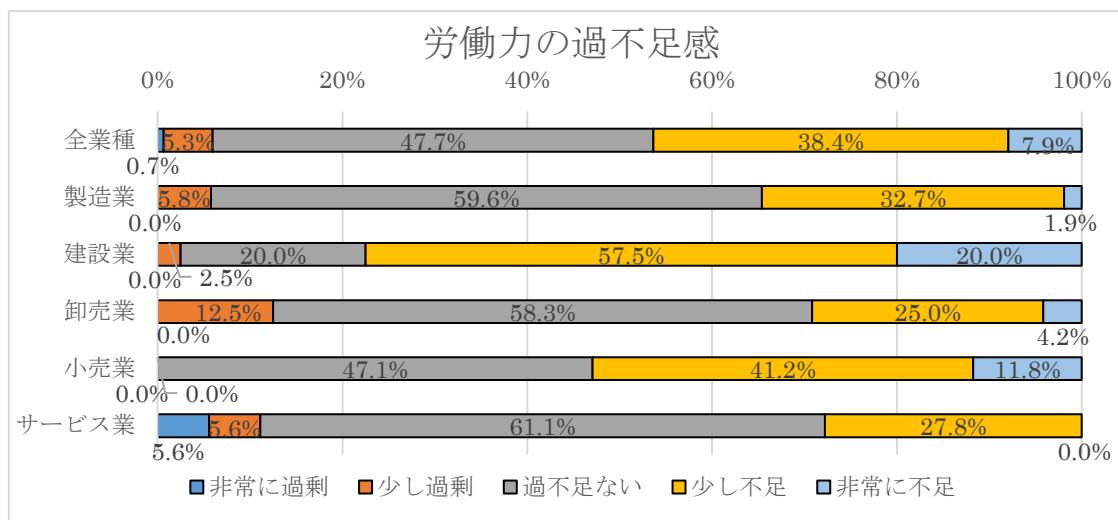
今後3ヶ月以内に設備投資の予定があると回答した方に対して、導入する予定の設備内容を伺ったところ、「設備の更新」が95.0%と大半を占めた。また「IT化」、「合理化・省力化」は同じく5.0%のみとなった。





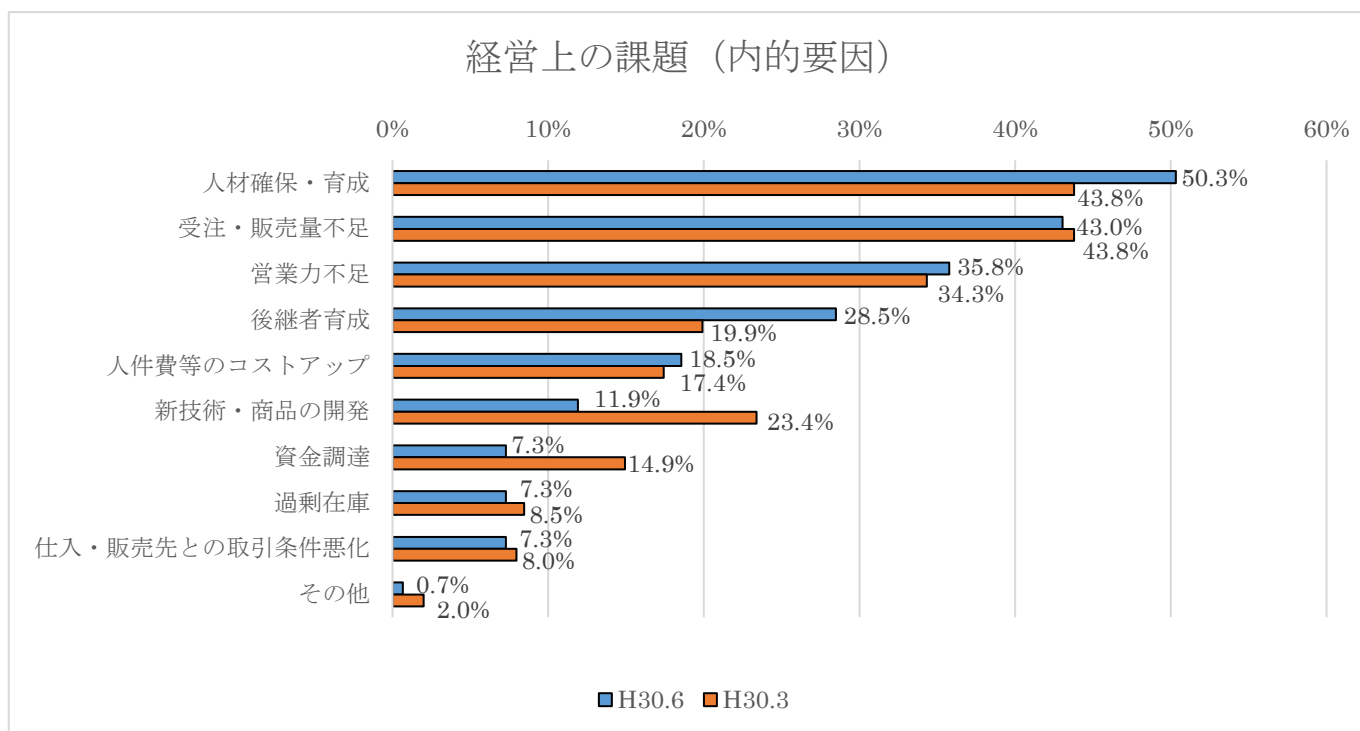
## 【労働力】

労働力の過不足感については、全業種では47.7%の事業所が「過不足ない」と回答した一方で、38.4%の事業所が「少し不足」と回答している。業種別では、建設業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答した割合は77.5%になり、依然として他業種に比べて非常に高い状態が続いている。



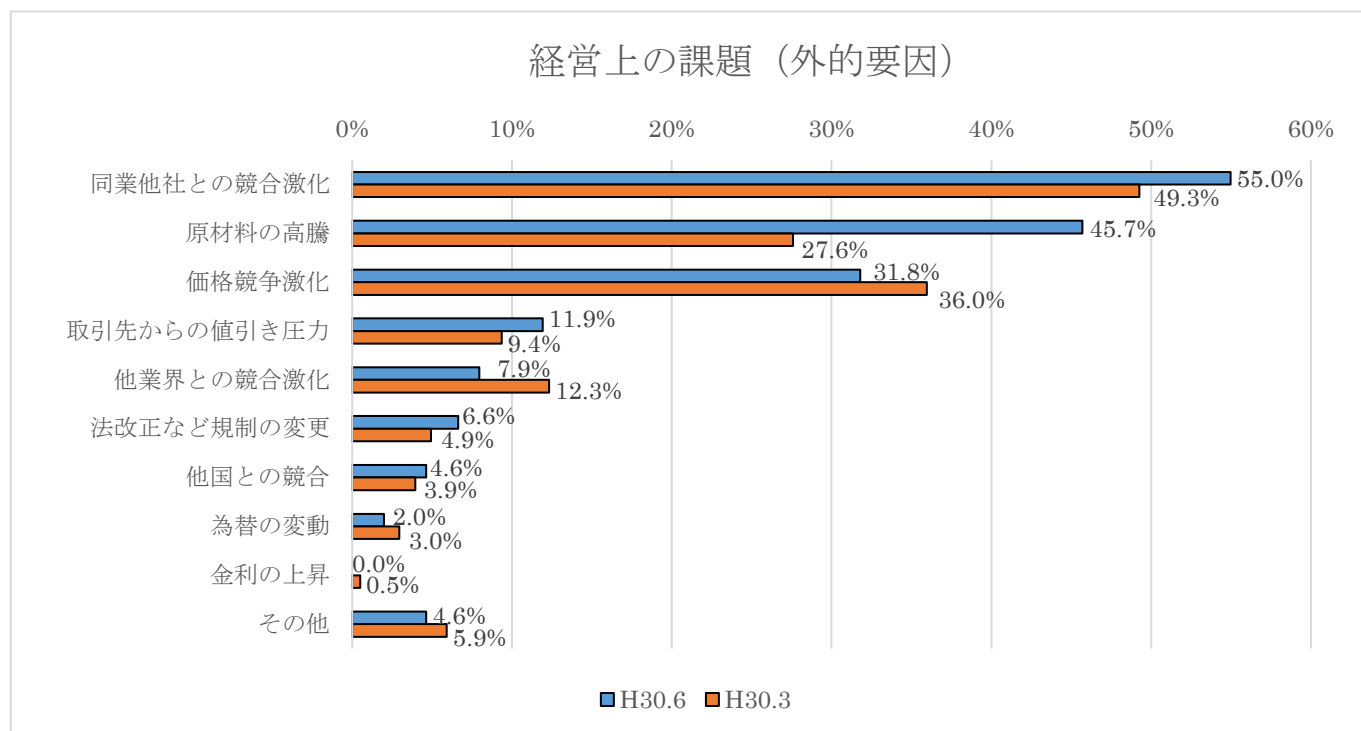
## 【経営課題(内的要因)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保・育成」を課題にしている事業所の割合が 50.3%となり前回調査時より 6.5 ポイント上昇し、最も高くなった。また、「後継者育成」も 28.5%と 8.6 ポイント伸びている。



## 【経営課題(外的要因)】

経営上の課題（外的要因）としては、前回調査時と同じく「同業他社との競争激化」が最も多く 5.7 ポイント増の 55.0%となった。今回は、「原材料の高騰」が 45.7%と大幅に増加しており、仕入面での課題が浮き彫りになった。

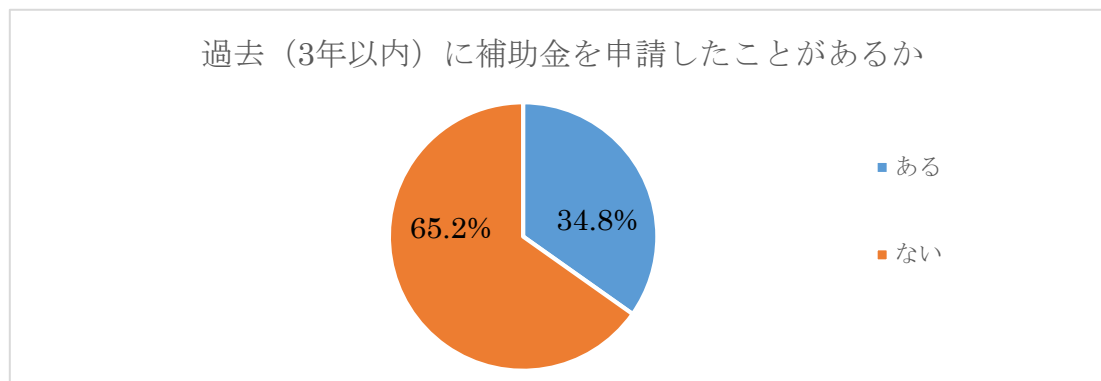


## トピックス調査【補助金について】

人口減少による市場縮小や他社との競合激化など、小規模企業者においてはこれまで以上に生き残り戦略が求められていることから、国や県、市では様々な企業支援施策を実施している。そこで今回は、関心が高まっている補助金の利用状況について伺った。

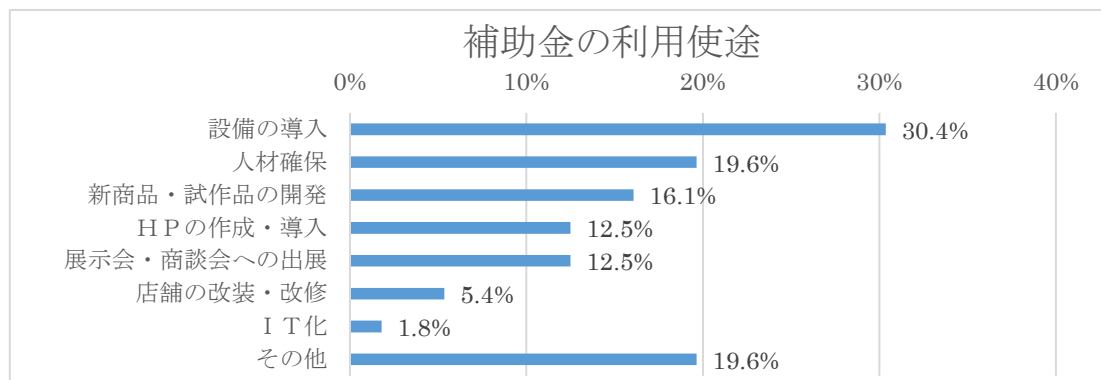
### 《過去(3年以内)に補助金を利用したか》

過去(3年以内)に補助金を利用していたのは34.8%であった。



### 《補助金を何に活用したか》

その補助金を何に活用したか伺ったところ、「設備の導入」が30.4%、次いで「人材確保」が19.6%、「新商品・試作品の開発」が16.1%となった。また、「IT化」に活用したとの回答は1.8%にとどまった。



### 《補助金を利用しなかった理由》

過去(3年以内)に補助金を利用したことが「ない」と回答した65.2%の方に、利用しなかった理由を伺ったところ、「必要がなかった」が35.2%と最も多く、「要件に該当しない」28.6%、「補助金自体を知らなかった」が21.0%となった。

